

市民の風 通信

戦争させない市民の風・北海道

購読申込先 〒061-2273 札幌市南区豊滝2丁目9-6 小林方 [電話] 090-2070-4423 [FAX] 011-596-5848
[メール] q-ko@sea.plala.or.jp [HP] https://www.siminnokaze-hokkaido.net

2022年11月10日(木)

NO. 13

※季刊発行(年4回)から随時発行



11月6日（土）、かでの2・7の会議室で市民の風・北海道の会員会議がZOOM併用で開かれ、札幌駅前でのアクションや国葬反対の取り組みなどで新しく会員となった方やZOOM参加者をなどを30数名が参加しました。

川原共同代表から「この間の情勢報告と知事選に向けての取り組み原案」が提案、「国葬反対」と「ウクライナ」チームそれぞれから取り組みの報告、ZOOMを通して各地から活動報告、参加者の意見交換をしました。

市民の風の会員が中心となって頑張ってきた「ウクライナ、国葬」行動については、評価が高く、会員も増えました。

知事選については「政党間の統一候補者の決定を待つのではなく、市民の側からも積極的に政策要望や候補者の提案をすべきではないか」という意見、野党共闘については立憲民主党の立ち位置について不安の声が出されました。

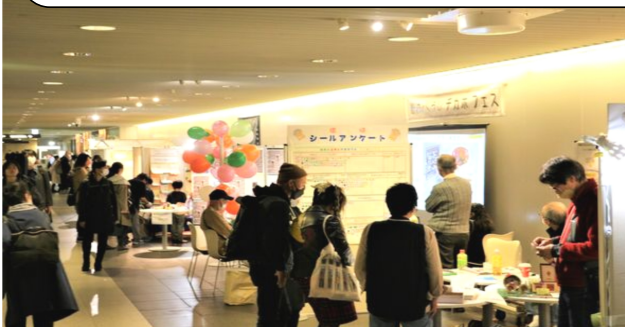
今回の会議での意見や論議を、今後の市民の風の活動に活かしていきたいと思えます。

2023年北海道知事選挙にむけての市民の風・北海道としての取り組み（案）

・2023年に行われる北海道知事選挙にむけて、市民の風・北海道は、この3年半の鈴木道政の検証を行うとともに、道内の市民と野党の共闘によって自公の候補者（現職?）に対抗する統一候補者の擁立の実現と、その勝利のための共闘体制の確立に取り組む。そのために、

- 1 この3年半の鈴木知事の道政を検証し、いま北海道に必要な政策課題と知事像を検討していく。
- 2 道内野党および連合北海道、北海道農民連盟などの関係政党諸団体に対して、市民と野党の共闘による統一候補実現の要請を行う。
- 3 市民と野党が共闘合意できる統一候補者の共通政策についての協議をすすめる。
- 4 統一候補者の勝利のための市民と野党の共闘体制の確立に取り組む。

2022年『憲法とくらしチカホフェス』 10/29（日）10:00～17:00



今年はチカホの5ブース（1ブース：6m+隣1m）30数メートルを借り切った大きなイベントとなりました。

「国会議員とおしゃべりコーナー」では熱心な真剣な議論が。「中古本100円コーナー」「憲法カルタ&親子で遊べるコーナー」「絵本朗読コーナー」「チャリティーバザー」、その他のコーナーにも多くの方が参加してくれました。

すっかり定着した『チカホフェス』です。

会議で出された主な報告・意見（要約）

【会議会場から】

・維新との国会共闘、野田元首相の国葬参列や追悼演説、枝野前代表の「消費税減税は間違いだった」発言、札幌市議会での2030札幌五輪招致賛成や新幹線トンネル残土問題への対応など、立憲民主党の立ち位置に不安を感じている。

・野党共闘について、市民団体はこれまで政党間の調整役だったが、これからは「この点は譲れない」という市民の側の姿勢を出すことが重要ではないか。

【6区/旭川】10月2日に旭川駅前で行憲・共産・社民・新社会が参加して市民と野党の宣伝行動をした。旭川でも統一教会が暗躍しており、昨年当選した自民党衆議院議員と統一教会の関連、公立に移行する旭川大学の主要役員が統一教会のトンネル団体の顧問になっていることが指摘されている。知事選については政党からの候補待ちより、無党派で例えば旭川出身の金平さんのような方を市民が押し出すような運動も必要ではないか。

【11区/帯広】2015年秋から悪天候以外は一度も休まず毎週金曜日夕方の「キンロクハン行動」を続けている。月2～3回続けている「戦争させない・九条を壊すな十勝総がかり行動」にも欠かさず参加している。若い人たちが「ウーマンラッシュアワー 村本大輔さんライブ」を1年に3～4回取り組んでいるが、このような行動にも参加するようにしている。統一地方選（帯広）に私たちに近かった人が参政党から出るということに驚いている。

【7区/釧路】国葬反対で6回の行動をした。27日には昼に約50名、夜も約70名が集まって抗議行動を続けた。

来年の道議選挙は4から3議席に減り、立憲野党の共倒れが危惧されているが、各党の思いもあり野党共闘としての調整が出来ないのが歯がゆい。

【10区/南空知】南空知としては岩見沢、美唄、由仁、栗山、長沼、夕張で19日行動などを毎月続けている。

岩見沢方面では憲法共同センターを中心に色々な取り組みをしている。

自分が住んでいる農村地帯の地域要求・要求の掘り起こしと連動した運動の必要性を感じている。

8月5日

安倍元首相の国葬反対

9月31日

「国葬反対」チームは反対の講演会を開催するために賛同団体を募ったのが市民連絡会へ発展。全国と連帯した抗議行動を続けました。



水島朝穂
早稲田大学

9月27日「国葬日」



【8月5日】ライブ隊有志が呼びかけて大通西3丁目でスタンディング。「国葬に我慢できない」30人以上も参加し、怒り一杯のリレースピーチをしま

【8月31日】国葬反対全国一斉行動。朝から降り続いた雨にもかかわらずススキノ交差点には様々なボードを持った120人が集結。札幌でも多くの市民が怒っていることを全国に発信しました。

【9月6日】「アベ国葬に異議あり」水島朝穂早大教授講演会には160人以上が参加。国葬の歴史的経過や具体的事例の説明に「国葬反対」の法的、理論的な正しさが理解できました。

【9月12日】市民の風の呼びかけで国葬反対市民連絡会が誕生。知事、札幌市長へ「国葬に参加しない」「公共施設への吊旗掲揚を要請しない」ことを求める要請書を提出しました。

【9月27日「国葬日」】札幌駅南口で「国葬反対スタンディング」を実施。道内最多の200人以上の市民が参加しました。反対運動は全国の市町村ごとに広がり、開設された国葬反対市民運動連絡会ラインで情報交換や激励も。

北海道でも市民の風会員メンバーが中心となって各地で様々な行動を繰り広げました。

ウクライナに平和を！

PEACE FOR UKRAINE !

ロシアのウクライナ侵略に抗議行動

ウクライナに平和を！プロジェクトチーム 報告（要約）

チームは市民の風会員を中心とした約10名で「ウクライナに平和を！ロシアは直ちに撤退を！」を合言葉に反戦活動を企画実行している。

1 札幌駅南口アクション

2月24日のロシアのウクライナ侵攻に抗議して若者有志が27日から毎週日曜日に始めた札幌駅南口での「No War Sapporo アクション」は5月15日まで12回続けられた。5月22日からは市民の風が主催して継続し10月23日まで23回の連続開催（若者企画と通算で35回）、約8ヶ月の行動となった。



5 ウクライナの人々との交流集会

7月11日、ベロニカさん親子などウクライナ出身者ら5名を招いた交流会を37名の参加者と開催。お茶を飲みながら戦争への考え、故国への想いなどじっくり聞く会となった。

6 南口集会参加者との交流会

市民の風の枠を超えて反戦の思いを共有する人たちと繋がりたいと夏ごろから集会後に簡易イスを並べてゆるやかな交流の場を持った。10月23日の南口集会最終日にはクリスチャンセンターで24名が参加した交流会を開催。

【行動をふりかえって】

唐突なウクライナへの武力攻撃に「ロシア領事館に抗議に行きたいけれど一人では…誰か抗議に行きませんか」と市民の風MLに何人かの投稿があり、2月28日にロシア領事館前で23名のスタンディングをしたのがウクライナ・プロジェクトの始まり。

出来ることを探し企画・宣伝・実行を続け、各団体・組織にも呼びかけを重ねる。南口集会署名活動は今までになく共感を持って受け止められ、選挙活動とも違う文字通り「戦争させない市民の風」の社会的な認知につながったように思う。

集会参加者からの「戦争に反対する場を守り続けた皆様に感謝しています」というメッセージはこの活動の自己評価のひとつと思う。しかしウクライナの悲惨な戦争は未だ停戦の兆しも見られない。「言い続けなければ認めることになってしまう」という参加者の声を胸に粘り強く反戦行動を続けていきたい。年内は毎月定例で第2土曜日に「ウクライナを忘れない行動」を企画。ウクライナ侵略から1年となる来年2月には大きな行動を計画する予定です。

2 領事館への抗議行動、署名提出



3月末より「ロシア軍の撤退を求める要請文の賛同署名」活動を開始。4月8日在札幌ロシア総領事館へ賛同38団体・賛同個人265人の要請文を持参したが受け取り拒否で郵便受けに投函。4月22日、上田文雄共同代表とロシア総領事との面談が実現し、上田代表から「武力行使をやめ平和的解決を図るべき。早く日露両国の市民がわだかまりなく交流できる社会になって欲しい」と求めた。7月24日に2回目の要請署名を提出（賛同2団体・賛同個人446人）。

3 『花はどこへ行った』ライブ

5月30日、作家の池澤夏樹氏の「世界中のそれぞれの場所、言葉で「花はどこへ行った」を歌おう！」の呼びかけにススキノの交差点で市民の風ライブ隊が路上ライブ。酔客に混ざって若い人も足を止めて歌ったり踊ったり投げ銭などの好反応もあった。



4 ウクライナに平和を！市民会議

6月、南口集会の趣旨に賛同する団体で「ウクライナに平和を！市民会議」を立ち上げた。市民の風 の他、労働団体・医療団体・女性団体・護憲団体などが参加。パレスチナ医療奉仕団・医療九条の会、中央区実行委員会、民医連などは南口集会の主幹を担う回もあった。



参議院選挙 「道選挙区」 残念ながら 立憲政党 1名減



市民の風・北海道は6月11日に「参議院選挙勝利に向けての市民と立憲野党の政策シンポジウム」を開催。立憲民主党道連、日本共産党北海道委員会、社会民主党道連の幹事長・書記長から各党の

政策・公約の説明を受け、市民の

結果は石川さんが、もう一步まで迫ったのですが、残念ながら自民党に2名議席を許すことになりました。

当	長谷川 岳	自民	595,033票
当	徳永 エリ	立憲	455,057票
当	船橋 利実	自民	447,232票
	石川 知裕	立憲	422,392票
	畠山 和也	共産	163,252票
	臼木 秀剛	国民	91,127票
	大村小太郎	参政	75,229票
	斉藤 忠行	N党	23,039票
	石井 良恵	N党	18,831票
	浜田 智	N党	18,760票
	沢田 英一	くにもり	16,006票
	森山 佳則	幸福	11,625票



**戦争させない市民の風・北海道主催
参議院候補予定者との対話集会**

徳永 エリ (立憲民主党) 5月4日(水) 18:30~札幌エルプラザ環境研修室

石川 ともひろ (立憲民主党) 5月21日(土) 10:00~札幌エルプラザ環境研修室

はたやま和也 (自民党) 5月29日(日) 18:30~札幌エルプラザ環境研修室

投票に行こう!



沖縄知事選挙 (9月11日投開票日)

礼必勝! 北海道から沖縄へ

彼女が私だったかもしれない

9.11 戦争させない市民の風・北海道 辺野古移設

玉城デニーさんに Youtubeで 連帯メッセージ

沖縄知事選挙を闘っていた玉城デニーさんに、市民の風・北海道から“必勝・連帯のyoutubメッセージ”を贈りました。

山口たか共同代表の挨拶のあと、ライブ隊が山城博治沖縄平和運動センター前議長の『今こそ立ち上がろう』(曲は加藤登紀子さんの「美しき5月のパリ」)の一部を「デニーさんを押しあげよう」に変えた歌のメッセージで激励しました。

2期目のデニーさん、「ゼロ打ち」(開票開始直後に当選確実が報じられる)で当選です。

【開票結果】(投票率 57.92% 前回▼5.32%)

当	玉城デニー	339,767票	50.84%
	佐喜 眞淳	274,844票	41.13%
	下地 幹郎	53,677票	8.03%



毎月14日に地下鉄琴似駅イオン周辺で『届け沖縄への想い in 琴似』行動をしている仲間たちです。9月の行動には20名の参加で「デニーさん2期目勝利」のお祝いをしました。

